



18歳以下のライダーへのエアバッグ式プロテクション着用義務化

2019年版国内競技規則で予告した通り、2020年より18歳以下のライダーへエアバッグ式プロテクションの着用が義務付けられます。(MFJに登録されたエアバッグ式プロテクション)

エアバッグ式プロテクション

1) 18歳以下の選手に対するエアバッグ使用義務(2020年1月1日より)

18歳以下の選手は、MFJに登録されているエアバッグを使用(着用)しなければならない。車検時にエアバッグがMFJ登録製品であることを確認する。車検時に複数のエアバッグ(仕様または型式違いでも可)を登録することも認められる。

※18歳以下とはレースウィークの予選日時点で満18歳以下の者をいう。

※適用はMFJ公認競技会(全日本選手権・地方選手権)。承認競技会は主催者の特別規則による。

2) エアバッグの使用基準

エアバッグが転倒等で展開した場合、当該ライダーについては走行に支障が無い、またはエアバッグ膨張部が取り外せると言う事を条件に、その時点で走行しているセッションについてのみ継続して走行することを認める。ただし、当該ライダーは次セッション走行前に新たな(展開していない)エアバッグを装備し、車検での再確認を受けた上で、次セッション以降の走行を行わなければならない。

★登録されたエアバッグ式プロテクションリストはホームページで示します。

【予告事項】

脊柱プロテクションと胸部プロテクションの規格

装着を義務付けている脊柱プロテクション(脊髄パッド)と胸部プロテクション(チェストガード)に製品の規格を設けていませんでしたが、2021年1月1日からは以下の規格を取得している製品であることが義務付けられます。※CE規格適合製品にはCEマークが表示されています。

(ロードレース競技規則10項ライダーの装備)

●脊柱プロテクション

2021年より、脊柱プロテクションはCE規格「EN1621-2(Level1またはLevel2)」適合品の使用が義務付けられる。「EN1621-2」規格品以外の製品は使用ができなくなります。

エアバッグ一体式でエアバッグ本体にCE規格「EN1621-2」適合品の脊柱プロテクションが装備されている場合は、脊柱プロテクションの装備は免除される。

●胸部プロテクション

2021年より、胸部プロテクション(チェストガード)はCE規格「EN1621-3(Level1またはLevel2)」適合品の使用が義務付けられる。「EN1621-3」規格品以外の製品は使用が出来なくなります。

エアバッグ一体式でエアバッグ本体にCE規格「EN1621-3」適合品の胸部プロテクション(チェストガード)が装備されている場合は、胸部プロテクション(チェストガード)の装備は免除される。

【CE規格とは】

EU(欧州連合/ヨーロッパの地域統合体)加盟国で製品を流通・販売するために必要な国際規格制度で、EU各国で定められる安全基準をまとめたEU圏の共同規格です。

以上